

令和6年伊賀市議会6月定例会月会議 一般質問通告者一覧

【発言予定日 6月13日(木)】

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
1	西田 方計	<p>1 地域支援のあり方について</p> <p>(1) 「地域包括交付金」算定誤りの一件から得た教訓は</p> <p>(2) 市職員の地域(自治協)との関わり方や職員人事のあり方は</p> <p>(3) 地域農業の将来は自治協の課題として位置づいているか</p> <p>2 スポーツ振興と上野運動公園競技場のあり方について</p> <p>(1) 伊賀市にとって「伊賀FCくノ一三重」の意義は</p> <p>(2) 上野運動公園の将来像と運営のあり方は</p> <p>3 交通政策のあり方について</p> <p>(1) 「交通戦略課」と名称変更した理由は</p> <p>(2) 伊賀鉄道通学定期半額助成の成果、そして今後は</p> <p>(3) 高校生等の通学を支援する目的、そして今後は</p>
2	山下 典子	<p>1 男女共同参画について</p> <p>(1) 現在の取組</p> <p>(2) 就労支援</p> <p>2 伊賀市立上野総合市民病院について</p> <p>(1) 医師の働き方改革</p> <p>(2) 建物の老朽化と駐車場</p> <p>3 鉄道利用者の通学定期券拡充について</p> <p>4 成人式の日程変更について</p> <p>5 クマ対策について</p>
3	中谷 一彦	<p>1 伊賀鉄道の現状と今後について</p> <p>2 インフレスライド条項について</p> <p>3 単身高齢者等の賃貸入居を円滑にするための伊賀市の支援について</p> <p>4 公共施設民間活用事業の進捗状況について</p>

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
4	釜 井 敏 行	<p>1 伊賀市におけるP F I事業の検証と今後の活用方針について</p> <p>(1) 新図書館事業におけるP F I事業の現段階の検証は</p> <p>(2) 新美術博物館におけるP F I事業の活用方針の検討状況は</p> <p>(3) P F I事業の活用と適切な労働条件確保をどのように両立するか</p> <p>2 介護・福祉人材の確保策について</p> <p>(1) 市内施設における介護・福祉人材の現状の受け止めは</p> <p>(2) 小・中学校の福祉教育の推進</p> <p>(3) 介護・福祉系の資格取得等の支援策</p> <p>(4) 空き家対策・移住促進と一体の人材確保策</p> <p>(5) 政府の福祉政策に対する市の見解と対応</p> <p>3 大阪・関西万博への小中学生の学校行事での参加について</p> <p>(1) 現時点での意向調査の状況は</p> <p>(2) 万博の安全性と学習効果をどう評価し、どう対応するか</p>
5	北 山 太 加 視	<p>1 地域防災の拠点となる消防ポンプ庫について</p> <p>(1) 消防ポンプ庫の状況</p> <p>(2) 廃止した消防ポンプ庫について</p> <p>(3) ポンプ庫の名称の表示について</p> <p>(4) ホース乾燥塔について</p> <p>2 防災力の高い地域を目指して</p> <p>(1) 市の本年度の危機管理訓練の予定</p> <p>(2) 「防災士」の資格取得者の増加・増員を</p> <p>(3) 一人一人の「タイムライン」策定の推進</p>
6	宮 崎 栄 樹	<p>1 伊賀消防署東分署と阿山分署の統合による機能強化について</p> <p>(1) 現在の取り組み状況は</p> <p>(2) 消防力や災害対応能力の強化を</p> <p>2 旧町村エリアの魅力を高める地域拠点形成はどこまで進んでいるのか</p> <p>(1) これまでの進捗と総括は</p> <p>(2) 地域産業の拠点づくりをどう進めるのか</p> <p>(3) 福祉の拠点づくりをどう進めるのか</p>

【発言予定日 6月14日（金）】

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
7	濱 瀬 達 雄	1 伊賀市のにぎわいによるまちづくりについて (1) 上野南部広域的な拠点整備によるにぎわいの創出 (2) 農業によるにぎわいの創出 (3) 子ども施策によるにぎわいの創出
8	赤 堀 久 実	1 誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について 2 保育所等における要支援児童等対応推進事業について
9	西 條 エリ子	1 こども・子育て支援 (1) こども家庭センター（こども家庭支援課）について (2) こども誰でも通園制度について (3) 保育人材の確保について 2 阿山保健福祉センターの有効利活用
10	増 田 雄	1 次世代へ繋ぐ観光施策 (1) 宿泊税の導入 (2) 芭蕉さんと歩む観光まちづくり (3) 空き家を活用した観光まちづくり
11	上 田 宗 久	1 人口減少が進む伊賀市の覚悟と産業振興の担い手について (1) 2万人減少する生産年齢人口・工場団地の働き手の確保 (2) 増加する空き家に移住者への住居活用促進 (3) ゴールデンウィークの観光入り込み客数とまちなか回遊 (4) 縮小と縮充の持続可能な財政運営 2 稲作農業を支える地域営農集団などの諸課題 (1) ほ場整備後の灌漑施設などの経年劣化 (2) 地域営農を支える農地・水の環境保全組織 (3) 貸手・借手の農地中間管理機構の役割 (4) 農業委員会の使命
12	森 中 秀 哲	1 24時間使用可能なAEDをもっと地域に 2 市民に愛され、活用される「美術博物館」にするために

【発言予定日 6月17日（月）】

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
13	市川 岳人	1 地域に開かれた学校を (1) 伊賀市のコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の現状は (2) 地域住民の活動拠点確保と公共施設の維持費用節約が可能な「学校三部制」を導入すべきでは 2 市長の4選目出馬は (1) 就任されてから3期12年の自己評価は (2) 4選目出馬の意思は
14	川上 善幸	1 住みなれた地域で暮らし続けるための施策について (1) 公的な支援施策について (2) 地域の助け合い活動に関して
15	田中 覚	1 何のために（行政目的を正す〈前編〉） (1) 子育て世帯支援 (2) 市民の暮らし支援 (3) 高齢者（世帯）支援 (4) 住民自治協議会支援
16	百上 真奈	1 放課後児童クラブ（学童保育）の指定管理者制度について 2 「隠れ教育費」の保護者負担軽減について (1) 義務教育にかかる保護者負担（隠れ教育費）の現状 (2) 学習教材費等の保護者負担を軽減する取り組み
17	近森 正利	1 農業への新規就農について (1) 新規就農までのみちすじ (2) 新規就農者への経営を始める為の資金支援や継続発展を支援する政策 (3) 農業保険制度 (4) 伊賀ブランドの認知度の向上や価値が上がる取り組み 2 防災・減災対策について (1) 能登半島地震被災地支援への派遣隊のこれまでの取り組みや現状 (2) 伊賀市防災訓練実施に向けて能登半島地震の教訓からの取り組み (3) 伊賀市建築物耐震改修促進計画への取り組み 3 軟骨伝導イヤホンの活用について (1) 市役所や市民病院の窓口に導入

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
18	福 岡 正 康	<p>1 阿波地域に建設予定の産業廃棄物最終処分場事業計画</p> <p>(1) 三重県産業廃棄物の適正な処理の推進に関する条例手続きで必要な、伊賀市市道等に関する伊賀市の考え方</p> <p>(2) 伊賀市産業廃棄物処理施設の設置に関する指導要綱での伊賀市の対応</p> <p>(3) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律による伊賀市への意見聞き取りに対する対応</p> <p>2 伊賀市高齢者輝きプラン</p> <p>(1) 高齢者福祉サービスの充実「一般介護予防事業」</p> <p>(2) 生きがい活動の推進「生涯活動の推進」「高齢者の自主的な活動への支援」</p>